

多様な子どもたちを育む インクルーシブな保育 2024サマー



2024.8/31 (土) 13:00



会場 新潟青陵大学 青陵ホール 新潟県新潟市中央区水道町1-5939

駐車場には限りがあります。可能な方は公共交通機関の利用や乗り合わせてお越しください。



対象 新潟市内、新潟市近郊の保育者など就学前の子どもの支援に携わる方



料金 1,000円(学生:無料)

定員
100名程度



申込 QRコードのPeatix
イベントフォームより
お申込みください。
申込締切:2024/8.24
13:00



問合せ 社会福祉法人 護念児会
幼保連携型認定 新通こども園 
Tel.025-268-3132
Mail:shindoorihoikuen@at.wakwak.com

主催: 幼保連携型認定 新通こども園

後援: 新潟青陵大学・新潟青陵大学短期大学部
社会連携センター



研修会概要

★ 保育所、幼稚園、幼保連携型認定こども園では、多様な育ちの子どもたち一人ひとりの教育的ニーズに応じて「共に学ぶ」ことが目指されています。

昨年度は、「多様な子どもたちを育むインクルーシブな保育」をテーマとして、障害児保育の歴史的背景と多様な育ちの子どもに対する柔軟な仕組みについて学び合いました。

今年度は、「2024サマー」と題し、子どもの個々の育ちと集団の育ちを支える保育について深く考える機会にしたいと思います。

研修会内要

1部 13:00～14:20【障害等の特別な配慮を必要とする子どもの保育】

講義1 子どもの実態把握
「子どもの姿をひも解くための実践方法
～KJ法を用いて～」
長谷川 哲(新潟県立はまぐみ特別支援学校・教諭)



一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援には、適切な実態把握が求められます。本講義では複数で行うKJ法を参考とした実態把握の方法について講義とVTRから解説します。

講義2 集団の中での個への支援
「育児担当制の保育による
前言語期の子どもとのかかわり」
齊藤勇紀(新潟青陵大学・教授)



言葉や社会性の発達がゆっくりな子どもの育ちは、身近な保育者の日々の観察やかかわりにより大きく変化します。本講義では、乳児期の担当制保育を活用し、発達の見立て方、応用行動分析学によるかかわりの実践を紹介합니다。

2部 14:30～16:30【多様な育ちの子どもの保育と実践報告】

講義3 集団と個への支援
「インクルーシブな保育を
実現するための環境構成」
守 巧(こども教育宝仙大学・教授)



気になる子どもがクラスにいる場合、どうしても「気になる子(個)への支援」を検討しがちです。「個」の支援の前に、まずは「環境」に着目してみましょう。本講義では、少しの工夫で変わる！気になる子が過ごしやすくなる保育の環境構成について解説します。

実践報告
「多様な子どもの
個々に合わせた保育実践」
古澤勝彦・佐藤颯多(新通こども園)

インクルーシブな保育を目指している本園での実践を紹介します。運動会による保育のプロセスと評価を紹介することで、次の実践への糸口を探求します。

全体討議 今回の研修について講師の方々とディスカッションします。
また、全体を通して質問・疑問にもお答えいたします！

みなさんの参加をお待ちしています！
ぜひ一緒に学びましょう！

